

姥ヶ山自治会報

第 72 号

発 行 者
姥ヶ山自治会
吉岡富三雄

印 刷
新潟マイクロコンピュータ㈱

平成二十六年九月三十日現在
姥ヶ山自治会動向
世帯数 一、四二〇戸
班 数 一一五班

姥ヶ山諏訪社大祭を終えて

姥ヶ山氏子会 会長 青木 正

姥ヶ山諏訪社氏子会の皆様、姥ヶ山自治会、地域の皆様には、いつも温かいご理解・ご協力を頂き、心から感謝いたしております。

本年も、恒例の諏訪社秋の大祭が、氏子会役員はじめ、自治会の祭り実行委員会の皆様の御努力のお蔭で、成功裡の内に終わる事が出来ました。今年も昨年同様、火、水曜日と平日だった事で、民謡おどりの人出が心配されましたが、そんな心配どころか、今までに無いくらい賑わいで、本当にうれしく思っております。これも関係役員皆様のご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。

これからも、伝統ある姥ヶ山諏訪社の大祭で、地域の老若男女大人も子供も一体になって、楽しい一夜を過ごすことは、大変意義あることだと考えておりますので関係各位の皆様の温かい御協力の元で長く継続されることを祈念いたします。

太々神楽舞では、心配された雨が最後の最後の大黒舞で雨のために供物撒きができなく、拝殿で舞って頂き、大量に用意した、供物も拝殿の中で撤きました。これも過去に無いことで、語り継がれる様となりました。

姥ヶ山諏訪社氏子会では、一昨年より、絵馬とおみくじを常に拝殿の前に用意いたしてきましたが、大変好評でこれからも継続いたしてまいります。
家内安全、合格祈願などなど、ご希望の



準備作業の様子(8月24日)



方は、代金を賽銭投入口に入れてお使い下さいますよう、お願いいたします。
また、二年参りも例年通り三十一日四時頃から浄火(焼き場)を初め、お札も販売いたします。
今年もお札は天照大神、諏訪神社のお札、それに『破魔矢』も用意いたしますので、よろしくお願いいたします。
地域の皆様には家内安全、合格、健康、等々の御祈願として、お気軽に御参拝くださいますよう、お願いいたします。



太々神楽舞



宮 上 り



「姥ヶ山祭り」に思うこと

祭り実行委員長 利根川高雄

今年の夏も終わりを告げようとする八月二十六日・二十七日に恒例となっている「姥ヶ山祭り」が盛大に執り行われました。

毎年大勢の皆さんに参加して頂いている「盆踊り」には、これまでの最高の人出ではないかと思われる盛況ぶりでした。踊りの休憩時に来場者に配られたアイス五〇〇個は、全員に行き渡らなかつたのではないかと思われ、踊りに参加した人に配布した参加賞は、二五〇個でした。これだけ多くの人達に楽しんでもらえるには、踊り場が狭く今後の問題として、本部テントの位置変更等の検討が必要と思われまふ。

この盆踊りを見ていた来賓の人がしみじみと、「姥ヶ山の踊りは松の木に囲まれたこの環境で行われている…これが昔からの本当の盆踊りなんだよねーこれからも続けて欲しいですね」と語りかけてきました。今まで何気なくこの祭りに対応してきた自分ですが、確かに近年他の祭り会場は整備された公園等がほとんどであり、姥ヶ山の松の木の合間を縫って踊る会場は希少価値が有り、今後大切に継続していかなければ…と感じさせられたものでした。

「姥ヶ山祭り」は、諏訪社氏子会と自治会で実行委員会を組織し、六部門の担当係で業務を分担しましたが、各係がそれぞれの役割を責任を持って行い、又、お互い都合の付かない場合は分担し合って補完してもらいました。このように総合力で対応する、これが大切なものと思います。

最後に、本年も地元企業の皆様より昨年を超える協賛金を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。



子どもみこし



盆 踊 り



ゲ ー ム